

社協だより

みんなで支えあい、一人ひとりが大切にされる地域福祉
だれもが安心安全に暮らせる地域社会をめざして



令和3年(2021)
9月7日号

No.108

もくじ

- P.2 粕屋西小学校感想文・わたしたちのふだんのくらしのしあわせ
- P.3 かすや支え合い通信
- P.4 あいあいNews
- P.5 子どものこんな時どうするの？
- P.6 赤い羽根共同募金
- P.7 一時的な生活資金の特例貸付に関するご案内、ホームページリニューアル、ぱーる会のご紹介
- P.8 おしらせ

ふだんのくらしのしあわせ 学んだよ。



令和3年7月8日、粕屋西小学校4年生に向けて福祉教育(総合学習)を開催しました。

この学習では、車椅子・アイマスク体験に加え、社会福祉法人三活会にご協力をいただき、オンラインツール「Zoom」を活用して高齢者施設と小学校をつなぎました。社会福祉法人三活会の職員の方から、施設内の様子を録画したものを紹介していただき、実際の高齢者施設を体感することができました。普段見る機会がない施設の様子に児童たちは興味深く、集中して見ていました。

この「活動」は当事者の生活の一部にふれる体験ですが、「自分たちにできることは何か」という思いを引き出したりと、心が成長するきっかけになると考えています。



粕屋西小学校から届いた感想の一部をご紹介します

- 車いすのそうじゅうの仕方や目の不自由な方の体験をさせていただきありがとうございます。足の不自由な方の気持ちをしりました。ありがとうございました。
- アイマスク体験は前がぜんぜん見えなくてこけそうになったり、車いす体験では曲がるのがむずかしくて、1mあるくだけでもむずかしかったです。
- アイマスクは、音や何があるのかをかんじると分かりやすかったです。
- みんなが笑顔になるような世界にしていきたいです。
- これからも目や手足が不自由な人などを助ける活動がんばってください。

福祉教育でご協力いただきました先生方や社会福祉法人三活会の皆さまに厚くお礼申し上げます。
(事務局)



わたしたちの ふだんのくらしのしあわせ

みなさまの何気ない毎日を感じる嬉しいこと、ほっこりすることを募集しましたところ、多数の方々からお寄せいただきましたので、ご紹介いたします。

季節のしごとを子どもたちと

娘と梅仕事をしました。梅を潰さないくらいに、こころ丁寧に塩をなじませる作業。目を合わせて話すことが恥ずかしくなってきた思春期ですが、となりにいておしゃべりしながら一緒に梅を触る時間は、赤ちゃんの時の抱っこと同じくらい幸せです。いつもありがとう。



(乙仲東区・40代)

犬とカササギとわたし

子育て中のカササギが食べ残しのドッグフードを狙ってやってきます。それを温かく見守る我が家のワンコ。近頃では巣立ちした仔カササギを背中に乗せていることも…。「猟犬の本能を忘れた老犬」と「警戒心を知らない仔カササギ」と、その様子を撮影しようと「息を潜めてじーっと待つ人間」のお話。



(長者原上区・40代)

新しい家族

レオパードゲッコーのニコちゃんをお迎えしました。😊とっても可愛く、ちょっとした仕草で日々家族癒されています。😊



(長者原下区・30代)

空

夕やけが綺麗だった時。珍しい雲が見えた時など子ども達と空を見上げるのが幸せです。また、その子ども達が私を見上げる首の角度も可愛いと思います。この角度で私を見上げてくれるのも今だけだな、と楽しんでます。



(若宮区・40代)

ふれあい

1日が終わり、疲れたなあ「ふう～」と一呼吸していると、「ニャーン」とよってくるミーちゃん。なでなでし、ちょっとのひとときですが、無の世界です。最高です。

(戸原区・70代)

一日の終わり

布団に入った瞬間！ (長者原中区・40代)

花の生命力

我が家の花壇に咲いていた花の種が飛んで、こんな所に😊



(長者原上区・50代)

ふだんのくらしのしあわせ 大募集

お住まいの行政区・年代を記入の上、下記までに、はがき、封書、メール、FAXでお寄せください。写真やイラストなどの投稿も併せてお待ちしております。※氏名は掲載しません

住所 粕屋町長者原東六丁目5番10号
メール kasuya-shakyo@blue.ocn.ne.jp
FAX 092-938-6886



☒ メールアドレス

だれもが安心して暮らせる粕屋町をめざして

かすや 支え合い通信 創刊号

生活支援コーディネーター1年目の藤井が、粕屋町の人・場所・活動をもっと知るために出向き、出会い、ご紹介します。



生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれています。住民同士のつながりを大切に、年を重ねても自分らしく暮らすことのできる地域づくりを住民の皆さまと一緒に進めていきます。

今回ご紹介するのは花ヶ浦長寿会の活動のひとつで、グラウンドゴルフ部のみなさんです。

活動日	毎週月・水・金
時間	9時～10時 ※金曜は10～12時
場所	花ヶ浦公園 ※金曜は粕屋中央公園



生活支援
コーディネーター
藤井

この活動はいつから始まったのですか？

部の発足は昭和から、約30年以上の歴史があります。

活動していて、よかったことは？

たくさん歩くので、いい運動になります。
仲間と話をしたり、いつも楽しみながら健康を維持しています。



部長 今泉さん(写真左)

花ヶ浦長寿会 会員募集中！

会長 吉原さんより

花ヶ浦長寿会では、毎月1回広報誌「花ヶ浦長寿会だより」を全会員に発行しています。編集委員会でその月々の内容、発行前の校正・印刷の手順で楽しみながら編集しています。

長寿会に興味のある方はご連絡ください。

連絡先 花ヶ浦公民館 ☎ 092-938-3602



こんなご時世だからこそ、日頃の想いをボールに込めて発散！体と心の健康は何よりも大事ですね。花ヶ浦長寿会の皆さま、ありがとうございました。次号もお楽しみに！

お問合せ先 社会福祉法人 粕屋町社会福祉協議会 (担当 藤井) 電話 092-938-6844 FAX 092-938-6886

あいあい News

医療的ケア児とその家族に居心地の良い暮らしを

医療的ケア児とは…

日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア（人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為）を受けることが不可欠である児童（18歳以上の高校生等を含む）

♥ 医療的ケア児とその家族の現状

医療の進歩などを背景に、医療的ケア児は、ここ10年で約2倍に増え、現在全国に約2万人いるといわれています。しかし、医療的ケア児に対応する施設は極度に不足していました。医療的ケア児を在宅でケアする保護者にとっては、高い医療依存度に加えて目を離すことができず、保護者が離職を余儀なくされ、一日中ずっと子どもに付き添わないといけない現状があります。親が就労できないということは、経済的困窮に繋がり、心身ともに疲弊し、それが家庭環境を悪くする場合があります。

♥ あいあいが支えます

施設で医療的ケア児を預かるためには、ケアに対応する看護師の手厚い配置や環境整備などが必要です。粕屋町社会福祉協議会では、看護職員を複数名配置した医療的ケア児対応型・放課後等デイサービスあいあいを設立しました。保育士、社会福祉士などの資格をもつ職員も所属しており、各専門性をいかして連携しながら、医療的ケアや発達のサポートが必要なお子さまの支援を行っています。

（参照：厚生労働省HP 医療的ケア児等とその家族に対する支援施策）

ご利用案内	
対象者	粕屋町在住の小学生・中学生・高校生（発達に課題があるお子さま、医療的ケアが必要なお子さま）
内容	放課後や長期休暇を通じて、小学生には、日常訓練と学習支援を、中学生・高校生には社会生活に向けた自立支援を行います。
利用時間	● 月～土（祝日も含む） ● 14時～18時（平日） ● 10時～18時（学校の長期休業期間等） ※送迎時間を含まず
送迎	粕屋町内で、概ね送迎が片道30分程度以内となります。 なお、家族が送迎を行うものについてはこの限りではありません。
留意事項	ご利用にあたっては、粕屋町役場が発行する「受給者証」が必要です。

敷縄池のほとりにあるあいあいは、カメや鳥が遊びに来る様子もみられ、自然を身近に感じることができます。バギーをご利用の方や体調が悪くなった時の静養スペースとして、ベッドも完備しています。見学等、随時受け付けていますのでお気軽にお問い合わせください！



パート保育士 募集

- 仕事内容 ▶ 医療的ケア児対応型・放課後等デイサービスにおける利用児童への支援業務・送迎業務
時給 ▶ 1,300円
勤務時間 ▶ 13時～18時30分 ※1日5～6時間程度（相談可）
必要資格 ▶ 自動車免許（AT可）、保育士免許
年齢不問、経験者優遇、マイカー通勤可能、有給休暇100%使用可能
・子どもが好きな職員ばかりで、とても働きやすい職場です。
・5月にできたばかりの事業所なので、みんなで協力して支援をしています。
・経験のある方も、ない方も丁寧に指導しますので一度見学に来ませんか。

見学・体験・利用相談は、随時受け付けております！

※体験には、事前申し込みが必要です。

ご利用等
お問合せ先

医療的ケア児対応型 放課後等デイサービス事業所 あいあい（担当：久保山、波佐間）

TEL：092-410-2742 FAX：092-410-2743

E mail：aiiai.kasuya-shakyo@lily.ocn.ne.jp

住所：〒811-2317 糟屋郡粕屋町長者原東六丁目5番10号 粕屋町福祉センター内

ホームページ



さんさんの先生が答えます!

子どものこんな時 どうするの?



今号のテーマ

ことばを獲得するためには
どうするの?
(耳のはなし編)

前回は、口や舌など、口の周りの筋肉の発達を促すおうちでできる遊びを紹介しました。今号では、耳に着目してお伝えします。教えてくれたのは、言語聴覚士の馬場先生です。

最近、耳鼻科に行って先生と話をする機会がありましたので、今回は耳のはなしについてお伝えしようと思います。

★ お子さんが耳を触ること、時々ありませんか？

耳がかゆい、耳が痛い、耳の中に何か入れてしまった…自分の状態をことばで伝える事ができる年齢だといのですが、年齢が低いとうまく伝えられないので、お父さんやお母さん、お子さんもお互いに困ります。

私の娘が小さい頃、熱を出して小児科に行った時のこと。原因が分からなかったので、「耳をみてください」と言ったところ、「耳垢がたくさんで鼓膜が見えません。耳鼻科を受診してください」と言われました。

急いで耳鼻科を受診したところ、中耳炎ではなかったのですが、「耳垢は1~2か月に1回、定期的に取りにきてね」と言われました。綿棒での耳のお掃除はしていたのですが、耳垢を奥に押し込んでしまっていたようです。



★ことばを獲得する時期の耳の聞こえは、とても重要です。

お水が耳に入ったようなぼんやりとした聞こえであったり、聞こえが悪かったりすると、発音もあいまいなものになってきます。

こどもの耳鼻科疾患といえば、中耳炎が多いと思います。熱が出てぐずる、鼻水がひどいなどの症状がありますが、熱が出ない中耳炎もあります。

かかりつけの小児科だけでなく、耳鼻科もあると、子どものサインに気づきやすくなるかもしれませんね。



ご利用等
お問合せ先

児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所 **さんさん** (担当:青山)

TEL: 092-409-6468 FAX: 092-409-6469

E mail: sunsun.kasuya-shakyo@leaf.ocn.ne.jp

住所: 〒811-2305 糟屋郡粕屋町大字袖須136-1

ホームページ



あなたと私は、
赤い羽根でつながっている。
意志あるお金、募金のチカラ



赤い羽根共同募金

今年も、10月1日から全国一斉に「赤い羽根」をシンボルとした共同募金運動が始まります。

この募金で寄せられた浄財は、高齢者、障がい児・者、青少年、住民全般の福祉(ボランティア活動など)に用途され、粕屋町を良くするしくみづくりとして役立てられています。

また、募金の3%は災害時にボランティア活動のための準備金として積み立てられており、もしも粕屋町で大きな災害があったときには、全国から応援が届くしくみです。みなさんの身近なところにも、募金が役立てられています。

新型コロナウイルス感染症拡大により、人々のつながりを保ちづらい社会にありますが、赤い羽根共同募金はつながることをあきらめず、孤立、孤独の問題に対して取り組む活動を応援していきます。

今日までの町民の皆さまのご協力に感謝いたしますとともに、本年度も一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

令和3年度 赤い羽根共同募金キャッチフレーズ
『あつまれば 大きなちから 赤い羽根』



令和2年度(令和3年度事業分)粕屋町社会福祉協議会へ配分されたお金

10,899,000円

粕屋町ではこのような活動に役立てられています

(内訳)

高齢者の社会参加活動や生きがい・健康・仲間づくりのために

- 粕屋町シニアクラブ連合会支援
- 軽運動・趣味の教室の開催
- ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業
- ひとり暮らし高齢者等電話訪問活動
- 外出支援の充実(車椅子無料貸出) など



1,536,000円

未就学児・児童・生徒の福祉向上のために

- 地域青少年育成事業(各行政区)
- 福祉協力校活動の支援(小・中学校、高校)
- 幼稚園等の世代間交流の支援
- 総合学習の支援
- 子育て情報誌「キッズネット」の発行



2,650,000円

障がい者の社会参加活動や生きがい・健康・仲間づくりのために

- 粕屋町身体障がい者福祉協会活動支援
- 粕屋町知的障がい(児)者親の会活動支援
- 子育て応援サロンの開催(療育児・親子サロン)
- 身体障がい者生きがい対策支援事業(サロン) など



1,027,000円

地域福祉・ボランティア活動の推進のために

- 社協だよりの発行
- 小地域福祉活動の支援
- 福祉委員活動支援・献血推進事業
- 各種福祉団体活動支援
- 粕屋町ボランティア連絡協議会支援 など



5,686,000円

※現在、新型コロナウイルス感染症防止対策の上、事業を実施しております。

新型コロナウイルス感染症の影響による 一時的な生活資金の特例貸付に関するご案内

各都道府県社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業や失業等により生活資金でお悩みの方に向けて、生活福祉資金のうち以下の資金について、特例貸付を実施しています。

申請の受付期間が**令和3年11月末まで**延長されることが決まりました。

なお、粕屋町社会福祉協議会では、感染拡大防止のため、電話・郵送で対応しています。まずはお電話ください。
(貸付には審査があります。)

	貸付対象	貸付内容	貸付できない世帯
緊急小口資金 (休業された方向け)	休業や収入減により緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	少額の費用を貸付 貸付上限額： 10万円以内 (特に必要と認められる場合は、20万円以内) ※無利子、保証人不要、償還期限2年以内	<ul style="list-style-type: none"> この特例による貸付をすでに福岡県及び他都道府県で借りている世帯 借入申込書、申立書の記載内容が事実と異なる世帯 破産申立手続など法的整理中の方がいる世帯 生活保護受給中の世帯
総合支援資金 (失業された方向け)	収入減や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯	原則3月以内の生活費用を貸付 貸付上限額： 月額20万円以内 (単身世帯は15万円以内) ※無利子、保証人不要、償還期限10年以内	

お問合せ先 粕屋町社会福祉協議会 電話：092-938-6844
受付時間：8時30分～17時(土・日・祝日を除く)

ホームページ リニューアル!



令和3年8月16日より社協の事業や福祉に関する情報が見やすく、わかりやすいページとなりました。

左記のQRコードからも、粕屋町社会福祉協議会のホームページへ簡単にアクセスできます！
ぜひご活用ください。



社協だよりは「ぱーる会」により音訳されています！

粕屋町社協からの大切な情報を声でお届けしています。音訳ボランティア団体「ぱーる会」が音訳し、CDやそのまま聞ける再生プレーヤーを貸し出します。社協だよりを読むことが難しい方はお問い合わせください。



ぱーる会のご紹介

活動目的

障がい者(児)福祉、高齢者福祉のため

主な活動内容

- ・町の広報、議会だより、社協だよりを音訳し、録音CDを作成(CDは粕屋町役場ロビー、福祉センター、図書館にて貸出。 ※視覚障がい者の方には、再生機とSDカードで貸出)
- ・障がい者通所施設「三つ葉の里」で作業の補助(月1回)

ぱーる会の活動に興味がある方は、粕屋町社会福祉協議会までご連絡ください。



無料 心配ごと相談所の開設
 日常生活の悩みや心配ごとなど、弁護士に直接お会いして相談できます。(無料)
【対象者】 町内在住者
 ※ただし、裁判所で訴訟中、弁護士に依頼済みの方は受付できません。
【開設日】 9月21日(火)、10月5日(火)、19日(火)、11月2日(火)、16日(火)、12月7日(火)、21日(火)、1月4日(火)、18日(火)

【開設時間】 10時～12時 ※一部予約制(10時と11時)
 ※それ以外の方は、随時受付(当日受付時間:9時30分～11時30分まで)

ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業(たよりあいプロジェクト)
 安否確認やハガキを通じた交流を目的に、心ばかりの贈り物とお役立ち情報やコラム、脳トレクイズを記載したおたよりと返信ハガキを郵送しています。

【対象者】 町内在住の75歳以上のひとり暮らし高齢者 ※利用条件あり
【開催日】 9月、11月、12月、1月の下旬(予定)

子育て情報誌発行(キッズネット)
【発行日】 9月17日(金)、10月20日(水)、11月19日(金)、12月20日(月)、1月20日(木)

子育て応援サロン(療育児・親子サロン)
 作業療法士や臨床心理士等による発達障がいのある子どもの療育をしながら、親同士の交流を目的としたサロンです。

【開催日】 9月11日(土)、10月2日(土)、11月13日(土)、12月4日(土)、1月8日(土)(予定)

身体障がい者生き甲斐対策支援通所事業(Newはげみ会)
 65歳以上の身体障がい者手帳所持者の方に対して引きこもり・孤立化防止を目的にサロンを開催します。

【開催日】 10月21日(木)、11月25日(木)、12月23日(木)、1月27日(木)

お茶の販売について(主催:ボランティア連絡協議会)
 今年度は中止いたします。

●社協行事予定は、随時ホームページにてお知らせします。
 ※上記予定等は、予告なく変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。

**社協では随時
 このようなことを行っております**

**福祉サービスを
 利用しやすい仕組みづくり**

- 福祉総合相談の実施、連携
- 福岡ライフレスキュー事業
- 生活福祉資金貸付事業
- 日常生活自立支援事業
- ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業
- ひとり暮らし高齢者等電話訪問活動 など

**安心で安全な
 暮らしを支える基盤づくり**

- 生活支援体制整備事業
- 居宅介護支援事業
- 障害児相談支援事業
- ふれあいバス(町内巡回バス)運行管理
- 粕屋町サポーター制度の運営
- 障がい児放課後等対策事業
- 外出支援の充実(車椅子の無料貸出し)
- 各福祉団体への活動の場の提供
- 虐待問題に関する啓発
- 児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所さんさんの運営
- 医療的ケア児対応型放課後等デイサービス事業所あいの運営 など

みんなが気軽に参加できる環境づくり

- 粕屋町福祉センターの管理運営
- 子育て応援サロン(療育児・親子サロン)の開催
- ボランティア保険(加入手続き・事故対応)
- ボランティア団体レベルアップ研修支援
- 疑似体験用具の貸出し
- 献血推進事業 など

ご相談・問合せはこちら

社会福祉法人 粕屋町社会福祉協議会
 住所:粕屋町長者原東六丁目5番10号 粕屋町福祉センター内
電話: 092-938-6844 FAX: 092-938-6886
E-mail: kasuya-shakyo@blue.ocn.ne.jp
 受付時間:8時30分～17時(土・日・祝日を除く)



ホームページ



Facebook

エンディングホール かぞくの心

まずは斎場のご見学から

ご不明な点・ご質問など
 お気軽にお問い合わせください。

現地にて
**事前相談
 承ります**



やすらぎ会館 かすや斎場
 福岡県糟屋郡粕屋町戸原西1-13-1 (JR伊賀駅前)

☎092-931-3533
 原町駅前交差点を伊賀駅方面へ車で約5分

